





双葉西小ママのちからを学校に

読書ボランティア募集

本がだいすきな子どもに育てたいから

ちいさいころ
我が子を膝に抱えて読んだっけ
あの本 あのとき あの笑顔
今度は 教室で 読んでみよう



むずかしいことはなにもありません
選書は みんなで 相談しましょう
コーディネーター 山下千代子さん
締め切り 11月30日(水)

双葉西小のお母さん方のご応募 お待ちしています

問い合わせ・申し込み 双葉西小学校 (0551) 28-2016
詳しいことは 学校からの通知を ご覧下さい

双西小児童のお父さんならどなたでも

時には グラス片手に親睦も・・・



学校応援団として 私たちの親の世代が素晴らしい活躍を始めています。
また、日頃のPTA活動は、お母さんがその中心になって活動し、何となくまかせっきり？
日々、仕事に忙しい我々父親ですが、たまには男同士集まって、愛するわが子だけでなく地域の子どもや学校の話に着に、一献傾け、語り合いませんか。
できるときに、出来る人が 出来ることをやりながら双葉西小学校を支えていこうではありませんか。パパの会、親父の会、お父さんの会・・・名称はこれから決めましょう！まずはわが子の通う学校つながりで、会員になって下さる方を募集します

発起人 23年度PTA会長 花田弘樹
22年度PTA会長 堀内和彦

申し込み方法
申込用紙(裏面)に記入し、担任の先生に渡して下さい。
締め切りは11月30日(水)
第1回の会合の日程につきましては、後日、申込者にご連絡致します。
問い合わせ先
甲斐市立双葉西小学校
(0551) 28-2016
担当 教頭 保坂秀人

子どものため いっしょに 活動しませんか？

双葉西小パパの会を立ち上げます

連携の中で見えてきた方向性

活動の中で

学校と地域との相互理解がすすむ

活動の中で

学校長の学校経営の方針の理解と承認がなされる

活動の中の様々な話題の中の一つ

「こんな先生に来て欲しい」「これはいかがなものか」

「こういうことが得意な先生がいいなあ」



ともに汗を流すことによって生まれる相互理解
ボトムアップ型のコミュニティ・スクール

2年間のCS調査研究指定校事業を終えて

成果

- 地域を挙げての学校支援の気運が高まった。
- 学校応援団の組織化に伴い、学校を基地としたシニア世代の交流が始まった。
- シニア世代の学校支援の姿勢に保護者世代がよい刺激を受けPTA活動への参加度が高まった
- 地域教材を扱った授業内容が充実し、児童の地域への関心が高まった
- 地域行事への児童の参加が増えた
- 地域の人々との交流が、あいさつ運動にもよい効果を醸し出した
- 教員と地域住民のふれあいにより、交流が増え、互いに親しみを持つようになった
- 学校運営協議会での話し合いがPTAや地域活動への提言として発信された。
- 親父の会の発足により学校行事への父親の参加が増えた。
- 学校への苦情が減った

課題

- 学校応援団と学校をつなぐ事務局が学校主体であり、校長・教頭の仕事量が増す
- 学校運営協議会での協議を保護者や地域や学校の実践に活かす方策の検討が必要
- 予算の確保が必要

コミュニティ・スクールの指定を行うか・見送るか

双葉西小学校調査研究実践結果の分析と検討 教育委員会・市議会において審議



創甲斐教育推進大綱～甲斐市で育ち甲斐市を育てる人づくり～

重点施策 学校教育の充実

家庭・地域・学校の連携強化

みんなで取り組む「地域で取り組む教育活動の推進」

思いやりと規範意識をはぐくむ「豊かな心の育成」



双葉西小学校2年間の調査研究・実践分析と検討の結果
地域の教育力が学校教育に生かされ、地域も活性化し
山梨県の風土に沿いながら、無理なく推進できると判断



平成24年4月 山梨県初 唯一のC・Sとして指定

24年度学校運営協議会

主な議題

第1回 六月

役員の決定

学校経営方針・教育課程・校務分掌

予算等について承認

○通学路の安全確保について協議

第2回 七月

前期学校評価

学校予算細目承認

安心安全対策

運動会バザー・保護者の交通指導旗振り

○いじめの状況と対策について協議

第3回 十月

学校行事の総括・バザー報告

25年度学校予算要求

職員組織・学校体制等要望

○特別支援教育について協議

第4回 十一月

25年度学校体制（PTA・職員）について
文部科学大臣表彰式並びに発表について
創立百四十周年記念事業実行委員会
について
○学力向上と家庭教育について協議

第5回 十二月

文部科学省での表彰及び発表の報告
公開研究会への取り組みについて
地域支援会議の発表内容の検討
○ホームページの活用状況について協議

第6回 二月（予定）

25年度学校経営方針（案）説明
教育課程・校内組織（案）説明
後期学校評価
○家庭教育への支援について協議

地域の人々の願い



学校は毅然とした態度で
公德心を教えてほしい

思いやりのあるころゆたかな子どもに

地域の伝統や文化を学び、地域のよさに気づき、地域を
大事にする子どもに

児童の地域行事への積極的な参加を

学校応援団の積極的な授業支援を

双方向の連携による信頼関係の構築を



地域とともにある学校の実現

地域とともに創る授業……ゲストとしてだけでなく、学び刺激しあう関係

子どもも教師もこれまで以上に、意識して積極的に地域に出て行く

保護者も地域の方々もこれまで以上に気軽に学校にでかけていく機会を増やす

公民館・図書館・市役所双葉支所・駐在所など関係機関との協働関係を築く

学校のためなら なんでもやる！

双葉西小学校のために いやな顔をする人はひとりもない
子どものためなら どんなに忙しくても やってやろうという意欲
よりよい学びを求め 追究するシニア世代の学びの姿勢
自分が子どもたちの学びを支えているんだという充実感
子どもと係わることで繋がる挨拶 声かけ 微笑みがえし
現役世代から寄せられる感謝の気持ち・言葉

学校のためになって よかった！

今後の充実に向けた方策

学校運営協議会において議論が必要な事案 の検討と充実

切実感があり、重要な教育課題・いじめ 通学路 学力向上など
日常的だが切実な議題・運動会バザー クラス替え 給食 体育着など

CS委員と教職員との交流

ともに本校教育を担う自覚。夢や日常を語る。親睦会？

CS委員と学校支援地域会議委員との連携

ともに汗を流し知恵を出し合う関係 どちらが上でも下でもない

学校応援団活動とPTA活動との連携と交流

シニア世代と保護者世代の相互理解 感謝と思いやり つながる習慣

継続する人材と組織の構築

校長が異動してもかわらずに活動が続く
新任教職員・新PTA役員への引き継ぎと研修
保護者の顔が見えるCS委員・ホームページの活用 西小祭り参加

24年度の取り組み内容

学習支援部会

○一年生

生活・昔の遊び

○二年生

生活・町探険案内

○三年生

理科・幼虫から成虫へ

○四年生

社会・消防・安全な生活

○五年生

家庭科・裁縫・ミシン

○六年生

社会科・地域の歴史

